



図書館職員が選んだ 「おすすめ食育本」を紹介します！

毎年6月の「食育月間」の前後に、名古屋市内の各図書館の展示コーナーにおいて、食育本を紹介して市民の皆さんに手に取ってもらえるようご協力をいただいています。

今年もいくつかの図書館に、展示本のうちの一冊について紹介文を書いていただきました。それぞれの図書館の魅力や特長もお聞きしましたので、実際に足を運んでみて、本と食育の世界に触れてみませんか？

☆ これより先は、図書館名に続いて ①おすすめ食育本の紹介 ②図書館の魅力・特長の紹介の順で、いただいた紹介文を載せております。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、食育月間期間中に展示コーナーが開催されない可能性もございますので、ご留意願います。



【東図書館】

① 『南極料理人の使いきりレシピ』西村淳／著 光文社

南極では、食材を新たに調達することも捨てることもできません。材料はあるもので作る、余ったら別の料理にアレンジするという南極流のアイデアは、家庭でも役立ちます。鶏の唐揚げが酢豚風に、酸辣湯に、オムレツに…と変身する「しりとリクッキング」や、南極でのエピソードもあり、読んで楽しいレシピ集です。

② 東図書館は、地下鉄「ナゴヤドーム前矢田」駅に直結し、ちょっと長いデッキを5分ほど歩くと到着。館内には約11万冊の本。やさしい英語ながら、わくわくどきどきの絵本や物語もたくさんあり、子どもも大人も夢中になれます。「ドラゴンズ応援コーナー」など、スポーツの本も充実。区内工芸高校生徒デザインのティーンズコーナーはカフェ風でおしゃれ。高校生おすすめの「高校生セレクトコーナー」「ぶんごう(文豪)コーナー」も。皆様ぜひ、お立ち寄りください！



【西図書館】

① 子どもに伝えたい和の技術 12 弁当 和の技術を知る会／著 文溪堂〈50〉

弁当は今では日本固有の文化として「bento(ベントー)」として売られていて外国でも大好評です。

松花堂弁当は箱の中をきれいに区切ってごはんやおかずをつめ合わせて、美しく、おいしく、衛生的で季節も表現されています。また、いくつもの食材がとれて健康にもよいのです。いろいろな地域の弁当、昔の弁当、世界の弁当などを豊富な写真と解説で紹介します。弁当について、種類や歴史、技、弁当箱の今昔など様々な角度からも理解できます。

② 名古屋市西図書館は、地下鉄／鶴舞線「浄心」下車 4 番出口より南へ徒歩 3 分です。西文化小劇場と同じ建物の中にあります。子ども向けにはおはなし会が 3 種類あります。絵本の読み聞かせや手遊び、紙芝居などで楽しい時間をすごしましょう。駐車場は、隣の区役所と共用の平面駐車場と文化小劇場と共用の地下駐車場の 2 か所あるのでとっても便利です。また、2 階の庭園では、おしゃべりしたり飲食もできます。



【中川図書館】

- ① 『野菜からそだてるカレー』 真木文絵／文 石倉ヒロユキ／写真・絵 偕成社
家庭でも給食でも外食でも大人気のカレーライス。レトルト食品も多くあり、インドで誕生したカレーですが、日本ですっかりカレーライスとして定着しています。この本は、野菜(たまねぎ・じゃがいも・にんじん)がタネから育ち収穫されるまでの過程とカレーに使用するスパイスの種類を紹介しています。「にんじんの花は白い」、「カレールウの作り方」など、いろいろなことを教えてくれる1冊です。
- ② あおなみ線荒子駅から徒歩3分、交通の便がいい図書館です。中川文化小劇場と併設の建物の1階にあり、中に入ると吹き抜けの明るい閲覧室に約9万冊の本が並んでいます。中川区ゆかりの武将、前田利家に関連する資料を集めたり、近隣の荒子観音にちなんで円空仏を展示したりと、特色あるコーナーを作って皆様のご来館をお待ちしています。



【富田図書館】

- ① 『たいせつなぎゆうにゆう』 キッチンミノル／著 白泉社
牛乳が生産される農園の1日は、太陽が昇る前の午前4時30分から始まります。牧場ではえさやり、搾乳、牛舎の掃除や、牛たちの牧草を刈る仕事など毎日大忙しです。牧場では子牛が生まれたり、トラクターの調子が悪くなったり、いろいろな事件が起こります。様々な人が関わることで飲むことができる、大切な牛乳。その牛乳が幼稚園に届くまでの様子が、温かみのある写真で描かれた絵本です。
- ② 富田図書館は中川区の西側にある図書館です。楠図書館とともに支所の区域に初めてできました。図書館の南側には富田公園があります。平成9年7月8日に開館し、今年25周年を迎えます。令和2年度の館内設備の大規模工事により、館内はとても明るくなりました。市民の皆さまに親しまれる、アットホームな雰囲気の魅力の図書館です。



【志段味図書館】

- ① 『とうもろこしからそだてるオムレツ』
真木文絵／文 石倉ヒロユキ／写真・絵 偕成社
ふわっふわのオムレツ。おいしいですね。材料は卵、牛乳、バター……。その卵を産むのはニワトリ、そしてニワトリのエサになるのがトウモロコシ。そのトウモロコシの育て方から卵ができてお店にならぶまで、と、この本ではひとつの食材ができるまでを深く掘り下げて紹介していきます。オムレツひとつにこんなにたくさんの手がかかっているんだ、とちょっとびっくり!! あらためて食べ物への感謝の気持ちがわいてきます。
- ② 志段味図書館はゆとりーとライン上島(東)駅から下車すぐです。毎月2回行っている無料の『乳幼児預かりサービス』は大変ご好評をいただいております、お子さま連れの方でもゆっくりと本を選ぶことができます。館内には、志段味古墳群にちなんだ「古墳コーナー」や、毎月行っている手話のイベントにも参考になる「手話のコーナー」など、志段味ならではのコーナーを展開しています。ぜひ志段味図書館までおでかけください!

【天白図書館】

① 『今日のたべもの百話』倉谷民 野尻範香/執筆 全国学校給食協会

中華そば、ナポリタン、りんご、チョコレートなどなど。目次にはおいしそうな食材や料理の名が並んでいます。本書はこれらの食べ物を、クイズを取り入れるなど、1頁1話(食)形式で、歴史面や生活面から分かりやすく解説しています。少し古い本ですが、「食べることは楽しい」という当たり前のことを、あらためて感じていただけるのではないのでしょうか。普段何気なく食べているものにも何か新しい発見があるかもしれませんよ。

② 天白図書館は、天白区のほぼ真ん中に位置し、天白川沿いに昭和 52 年 11 月に開館しました。天白川沿いの緑道は、四季を通じて散策でき、春には桜並木が見事です。また、天白川には四季を通じて生き物の息吹が聴こえます。自然な景観が豊かな当館は、約9万冊(児童図書 約 3 万冊)の蔵書数があり、南向きの大きな窓から日差しが入る、明るい図書館です。4 月ごろには中庭の桜も色づきます。

